

* 家庭・地域の教育力を高め、青少年の健全育成に努めよう。
 * 審議会等政策決定の場合へ女性の参加を促進しよう。
 * 循環型社会をめざし、地球環境を守ろう。

果婦連々おか

第 52 号

発行 福岡県地域婦人会連絡協議会
 〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50
 発行責任者 木下 幸子
 TEL 092-643-1440

『婦人会という文化の継承』



会長 木下 幸子
 新々明けまして
 おめでとろございます。
 皆様方のご健康とご多幸を
 心からお祈り申し上げます。

昨年開催しました、71回九州地区地域婦人大会は、県内会員の皆さんを始め多くの関係者の皆様のご協力、ご支援のおかげで盛会に終えることが出来ました。感謝申し上げます。

大会テーマに掲げました「いのちをまもり、くらしをまもり、ちいきをまもり、婦人会は、地域で様々な活動や取組を行う婦人会は、存在そのものが地域を守っているということを実際の活動を検証することで確認しようというものでした。4分科会の討議の中で各県から様々な活動や取組の報告がありましたが、いずれも地域と密着した素晴らしいものでした。

記念講演では、がんプレシジョン医療研究センター所長で内閣府戦略的イノベーション創造プログラム、プログラムイニクスターでもある中村祐輔先生から「あなたを知り、あなたに合った治療を」ということで、がん治療における遺伝子検査の重要性についてお話をいただきました。いまやがんは治療するだけでなく、備えることも必要であることを痛感しました。

今年も予測できない災害が発生しましたが、様々なことに対して備えることの大切さを再認識しました。婦人会は、高齢化など様々な課題に直面しております。先日行われた「地域防災力充実強化大会」で関西大学 河田恵昭特任教授が、「組織の高齢化が問題とされているが、これは、高齢化ではなく文化がなくなることなのだ」と言われていました。「婦人会」を伝統としていくことは地域にとつて必要であると考えており今後も婦人会という文化を継承していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



令和元年度福岡県地域婦人会 連絡協議会総会

期 日 令和元年6月3日
 場 所 博多サンヒルズホテル



今年度も小川県知事をはじめ多くのご来賓のご臨席のもと地域婦人会総会が開催されました。私たち地域婦人は基本課題である「組織の充実強化と男女共同参画社会の充実をめざす婦人会活動」のために地域婦人団体相互の連携協力を密にして婦人会の資質向上を図り地域社会の復興に寄与することを目的として青少年の健全育成や、子育て支援、高齢者や障害者の福祉、地球や生活環境の保全、食育や食の安全、安心、交通安全運動、防火防災運動等今後も地域の実情に即した活動に取り組んでいきます。

午後からの研修では茨城県地域女性団体連絡会磯井よう子会長に「婦人会活性化のために」と題してご講演をいただきました。人間は一人では生きられないのだから、金でも物でもなく友だちや人との関わりを大切にしたい！



副議長も訪問しました
 日時 令和元年8月11日
副知事表敬訪問
 日時 令和元年9月15日 場所 大丸天神エルガーラ・パチャー・ジュエビル

受賞おめでとうございます 地域の防災・防犯活動に貢献



令和防災功労者 内閣総理大臣表彰



春日、大野城、那珂川防犯協会長
 春日警察署長連盟表彰

那珂川市婦人会池田穂波



「赤十字フェスティバル」奉仕活動

日時 令和元年5月9日 場所 日本赤十字福岡支部

防災防火に関する講習会の実施や、住宅用火災警報器の普及啓発のために市内の世帯を戸別訪問するなど防災・防火への貢献が認められ、この度の受賞となりました。これからも伝統をつなげられる様活動を続けていきます。



みやま市

赤十字フェスティバル」が開催され、「ホッとホッと非常食」と銘打つての催しで、宗像の郷土料理「だぶ汁」が企画され、福津市地域婦人会の12名で260人分の「だぶ汁」を作り、日赤福岡病院に來られた患者さんやご近所の方々に振るまわれしました。5月に入つての少し肌寒い中、細かく切つた根菜類が沢山入り、とろっと暖かい「だぶ汁」は皆さんにとても好評でした。 福津市

地域婦人大会 州ブロック をまもり、ちいきをまもる婦人会



会場風景



会場風景



九州8県会長



木下会長



14店舗の方々に福岡の名産を出して頂きました



14店舗の方々に福岡の名産を出して頂きました



次期開催県長崎県へ玉手箱

第71回九州地区地域婦人大会が令和元年11月7、8日の両日ホテルオークラ福岡で九州8県より650名が集い開催されました。

1日目は4分科会に分かれ、テーマ毎に熱心に討議がされました。その後、情報交換会では各県の文化薫るおどりを出していただき最後は福岡県の炭坑節で参加者全員総踊りで楽しく終わることができました。

2日目はオープニングでは雑柳太胡振興会の力強い演奏が始まりました。

開会行事では多くのご来賓の方々より小川県知事、栗原県議会議長、木戸教育長、岩田全地婦連会長のご祝辞を賜りました。その後分科会報告、全体討議がなされ、大会宣言文、決議文が読み上げられました。最後に、木下会長より、次期当番県長崎県地婦連西山会長へ玉手箱が手渡され、大会の幕を閉じました。

大会宣言

九州各県の地域婦人団体650名は、福岡県に集い、「いのちをまもり、くらしをまもり、ちいきをまもる婦人会」を大会テーマに掲げ「第71回九州地区地域婦人大会」並びに「令和元年度全地婦連九州ブロック会議」を開催いたしました。

本大会では「組織の問題」「教育の問題」「福祉の問題」への問題について、九州8県の会員が自らの取組や問題点などの情報交換、課題についての協議など真剣に研究討議を行い、地域を基盤として組織されている婦人団体が安全で安心な社会を形成するためには、地域で様々な活動を行うことにより住民の絆を深めていくことが必要であり、それが地域を守ることに繋がるということを確認しました。

私たちは、改めて地域婦人団体の責務を自覚し、地域の核となる婦人会組織の向上を図り、共に支え合う地域力の創造に向けて努力することを宣言し、次のことを決議します。

決議

- 1、組織力を向上させるため、様々な活動に努めよう。
- 2、絆づくりのため、行政や他団体との協働と交流に努めよう。
- 3、子どもたちの明るい未来のため、子育て支援、青少年健全育成、また、安心安全に暮らせる地域社会づくりに努めよう。
- 4、男女共同参画社会の実現のため、政策決定の場や各種審議会等への参加に努めよう。
- 5、減災・防災に女性の視点を活かすため、研修会や防災訓練等への参加に努めよう。
- 6、食の安全を守るため、地産地消を推進し、消費者の資質向上に努めよう。
- 7、元気で長生きするため、仲間づくりや共に生きる福祉の地域づくりに努めよう。
- 8、北方領土四島返還の早期実現のため、更なる運動を展開しよう。

令和元年11月8日
第71回九州地区地域婦人大会
令和元年度全地婦連九州ブロック会議



田主丸町の現在の会員数は約300人で、9名の役員で構成されています。役員を中心に活動内容が話し合い計画し実施しています。

婦人会の主活動と関連事業を実施しています。

(1)40数年前に中央学級として立ち上げられたものを、4年前に生涯学習センターの事業として委託され実施している教室です。

毎月1回実施しています。

(2)平成18年に立ち上げた事業で親睦を深めることができました。

一方では、婦人会活動を行う人が減ってきていて、課題も沢山ありますが、みんなで楽しい活動をするこゝろで、互いの親睦を深め会員増につれ実施している教室です。

手話、コミラス、リフレッシュ、民謡、リフォームの5つの教室を毎月1回実施しています。

二子に合わせながら、実施していきます。

第2分科会 教育の問題 宇美町学習支援者派遣事業について 昔遊びなどをおとした学習支援

発表者 吉留節子 宇美町

宇美町では、知識や技能をもった方々を学習支援者として登録し、要請に応じて派遣し、学習活動の充実や地域のコミュニケーションをはかる方々を知り合いになり学校の先生方と人間関係を広げること、安全で安心な住みやすいまちづくりなど、指導を小学校や児童保育所、保育園から依頼をうけ活動しています。

他にボランティアとして、クラフ活動にゲスト





記念講演「あなたを知り、あなたに合った治療を」

講師 がんゲノミクス医療研究センター所長 中村祐輔氏

がんの原因は遺伝子の変異からです。変異することによってがんに結びつくと考えられる遺伝子が今までに数100個見つかりています。家族性腫瘍とは、家族に腫瘍(がん)が蓄積して、発する腫瘍性疾患でこのうち1個の病的な遺伝子の変異が親から子へ伝わりその要因をもとに発症する疾患を特に



交流会



炭坑節で楽しくワイナール



来賓の皆様



岩田全地婦連会長



のんご皿おどり 長崎県



かさおどり 宮崎県



祝舞 藤間公珠先生

県外からコメント



2日目の全体会でも意義ある研修を受講することができ、毎回思うことは、新たな出会い、再会で笑顔とパワートをいただいで、地元に戻ってからはもつと前向きに活動していこうと思います。お世話下さった福岡県の会員の方々、本当にお疲れ様でした。やっばり婦人会は「最高です。」(長崎県)



人との出逢いの大切さをつくづく感じた福岡大会になりました。お世話になりました。(宮崎県)

遠賀町は遠賀平野の中心に位置し、水と緑に囲まれた自然豊かな土地で稲作を中心にイチゴやアケボノなど施設園芸が行われて、北九州市のベトナムセンターとして世代を超えた絆を持つ人々の暮らす町である(人口19400人面積215km²)。婦人会は昭和21年4月に設立。会員相互の親睦と教養の向上、明朗な地域社会の推進を目的に誕生した。婦人会は「おんが子どもまつり」の実行委員としてカレ1800食、焼きそば600食を100円で販売(子どものおごつかいで買えるように)5500人の参加者がある。



第4分科会 伝統の行事を絆でつないでいくくらしと伝統を守る

第3分科会では①心の健康②食の健康③体の健康を取り上げ、大川市連合婦人会の中で20年の実績活動をしている。鐘ヶ江婦人会が発表されました。1心の健康は、本の読み聞かせ、みんなで歌を歌う・童謡、流行の歌など(幼稚園や小学校との交流、お茶会などを実施します。2食の健康では「和食は健康を維持する薬なり」言葉のごとく、先人たちが残した和食は今、日本人だけでなく世界からも愛される宝となりました。2013年に「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録されています。和食の特徴として①多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重②健康的な食生活を支える栄養バランス、③自然の美しさや季節の移ろいの表現④正月などの特別な祝いごとを祝う行事(餅つき、お粥、お雑煮)が盛り込まれている。また、青少年育成町民会議の主催で河川の浄化を目的として鮭の放流が行われているので、婦人会は参加者に豚汁とご飯を振る舞っている。お盆過ぎには千人踊りが開催され、「東京五輪高頭2020」を町民に教え皆で踊ることができました。高齢化や人口減少に伴う担い手不足で存続が危ぶまれている「祭り」や「郷土芸能」が親から子へ受け継がれ、地域を結ぶ新たな関係を作り未来へと続く遠賀町の歴史を作っていく手助けになればと思います。



第3分科会 福祉の問題「心食動」の活動く心にしわはない

発表者 大川市連合婦人会 川野栄美子

年中行事との密接な関わり。古くから食べてきた「汁三菜」一つの汁物に一つの主菜、二つの副菜がそろい、これに漬物、季節の果物、日本茶が添えられています。3動の健康「元気で長生きできなければ意味がない」と思っている人が多くいる現在、家事の中でも掃除、風呂洗いなどで前かがみになったり、しゃがんだり、さまざまな体の動きの中に大腰筋だけでなく、腹筋や背筋も自然に強化されます。立っているだけで座っているときの1.2倍のエネルギーを使い歩くと3倍といわれています。一度限りのかけがえのない人生の中で婦人会活動ができたことをうれしく思います。

